

またこんなにして…
これでは集中力を欠き
執務に支障がでますね

は……
本当に浅ましいのですね
貴方は

だ……だって鎮守府には
艦娘が**いっぱい**だから…
充滿する匂いだけで
おかしくなっちゃうよあ……

犬でも
もう少し慎みというものを
わきまえていますよ

うう……ごめん…
ごめんなさい
加賀あ

まあこれも
秘書艦の責務なので
処理はお手伝い
致しますけど

あゝ…♡
加賀ッ
それ駄目…っ♡

あゝあゝあゝ♡
ボクおかしく
なっちゃうよあ♡

なんですか
そのような情けない声で鳴いて
仮にも艦隊を率いる将…
提督ともあろうものが

単なる性欲処理程度
肅々とこなせないものかしら

ほら…
犬のように片足上げて
漏らしてください

心配いらないわ
執務室の床を汚す
心配はないから

ひあああああゝ♡
吸っちゃ…っ
すっちゃらめええっ♡

とても
濃いうえに量も…
貴方どれだけ溜め込んで
いたのですか

うう…
そんなの加賀だつて
知つてゐるでしょあ…

ああ…そうでした
— 貴方のような
幼くて頼りない提督と
情を交わしてくれる艦娘なんて
他にいませんでしたね

んん♡ふ…♡
仕方ありません

た…類まれな幸運に
感謝しながら…
残ったぶん…も
吐精しなさい…っ

私の膣内で…
んっ♡

全部…受け止めて
あ…あげるわ…っ♡



